## 2015年度帰国生入学試験「専門試験」「小論文」等の狙い・意図・採点のポイント

学科·専攻	専門試験(芸術学科は小論文)	面接	
	狙い意図	狙い・意図	専門 試作 利用
日本画	-	-	-
油画		表現すること、制作することへの意欲を強く持っているか。これからの制作の場として、なぜ本校を希望したのか。学生生活におけるコミュニケーションは十分できるだろうか。このような点について面接、小論文、実技試験の作品から総合的に判断した。	•
版画	版画制作に要求される基本的なデッサンカ・構成力・造形力を見るために、本年度は「テニスボールを持って」という出題で黄色のテニスボールを渡、、自由に制作させた。		•
彫刻	-	-	1
工芸	形態、素材感、色彩感、立体感、空間的な配置、画面構成などの基礎的な描写力を確認する。また、鉛筆デッサンといえども、対象に向き合う際の作者の感動が伝わってくるような画面の雰囲気や表現力も期待する。	なぜ本学の工芸学科を選んだのか。そして何を学びたいのか。 将来の展望などについて熱意と説得力のある答えを望む。実 技試験を経た感想を話してもらうことで、本人の制作について の考え方や取り組み方を確認したい。これまで学んだ専門分野 での到達度と、さらに今後の本学での専門授業に対応する力 をみるため、これまでの研鑽の蓄積がうかがえるファイルや資 料の充実を望む。また、人物から受ける熱意などもあわせて判 断する。	•
グラフィック デザイン	・理解力 問題の把握、理解が正しいか ・伝達力 問題の目的や状況を正確に表現しているか ・発想力 問題を造形化するアイデアが優れているか ・描写力 構図、形、動き、光、量感などを描写することに必要な 技術が優れているか ・個性 デッサンからうかがえる品格、感性に優れているか	・入学志望理由が明確であるか ・授業への取り組みの意欲があるか	×
プロダクト デザイン	・理解カ=問題の把握、理解が適切か ・発想カ=アイデアが優れているか ・独創性=他にないアイデアか ・実現カ=アイデア具体化方法の知識があるか ・表現カ=アイデアが伝わる表現か	・授業に必要な対話力があるか ・本専攻の内容を理解しているか ・本専攻への入学意図は明確か ・自分の意見を述べられるか ・学習意欲が感じられるか	×
テキスタイル デザイン	-	-	-
環境デザイン			×
情報デザインメディア芸術コース	対義語は、物事の印象や感覚と深く結びつき、様々な状況を比較して知る上でも使用される。 今回の出題では、対義語を決めて、想起するイメージの制作を課している。この出題の狙いは、受験生 それそれがどのような興味深い対義語を撰び、さらどのように視覚的表現を結べるかである。 構図や色彩あるいは仕事の丁寧さ細かさなど基本的な点を評価することは言うまでもないが、それに加え、課題を理解し、そこにどれだけ個性的な解釈を加え、表現しているかも採点のポイントになる。	面接試験のねらいは以下の能力をみることにある。 探点のポイントはこれらを総合して判断する。 ・面接時の態度、言葉遣いをふくめたコミュニケーションカ。 ・提出作品の内容。 ・提出作品の内容を限られた時間内にうまく伝えられるプレゼンテーションカ。	•
情報デザイン 情報デザインコース	-	-	-
芸 術	論述の着眼点が出題内容に対して適切であるか、論旨は明確で説得力があるか、卒業論文を書き上げるにふさわしい能力があるかという点が判断基準となります。常識的にまとめあげた文章より、テーマに踏み込んだ独自の発想を期待しています。	芸術学科で何を研究したいのか、受験生の知的能力や知的 関心がその研究を進めていくのに十分か、芸術の理論や歴史 に関する基礎知識はもっているか、などを判定します。	×
統合デザイン	・理解力=問題の把握・理解が正しいか ・観察力=日常の気付きからアイデアを導きだしているか ・発想力=イメージを具体化するアイデアが優れているか ・描写力=構図、形、光、量感などを描写することに必要な技術 が優れているか ・視 点=事象を捉える感覚とその表現が適正で感性に優れているか。	・入学志望理由が明確であるか ・本学科の内容を理解しているか ・授業への取り組みの意欲があるか	×
演劇舞踊デザイン 演劇舞踊コース		_	_

## 全学科共通小論文

- 1) 題:「時計」という題で、800字程度の文章を書きなさい。 2) これまでの生活体験をふまえて、「時の流れ」と「様々な時計」をイメージしつつ、異文化融合を意識しているかなど、その体験が美術にどう生かされるのかをみたい。 3) 上記のことを意識しつつ、自らの具体的体験を絡めながら述べられているか